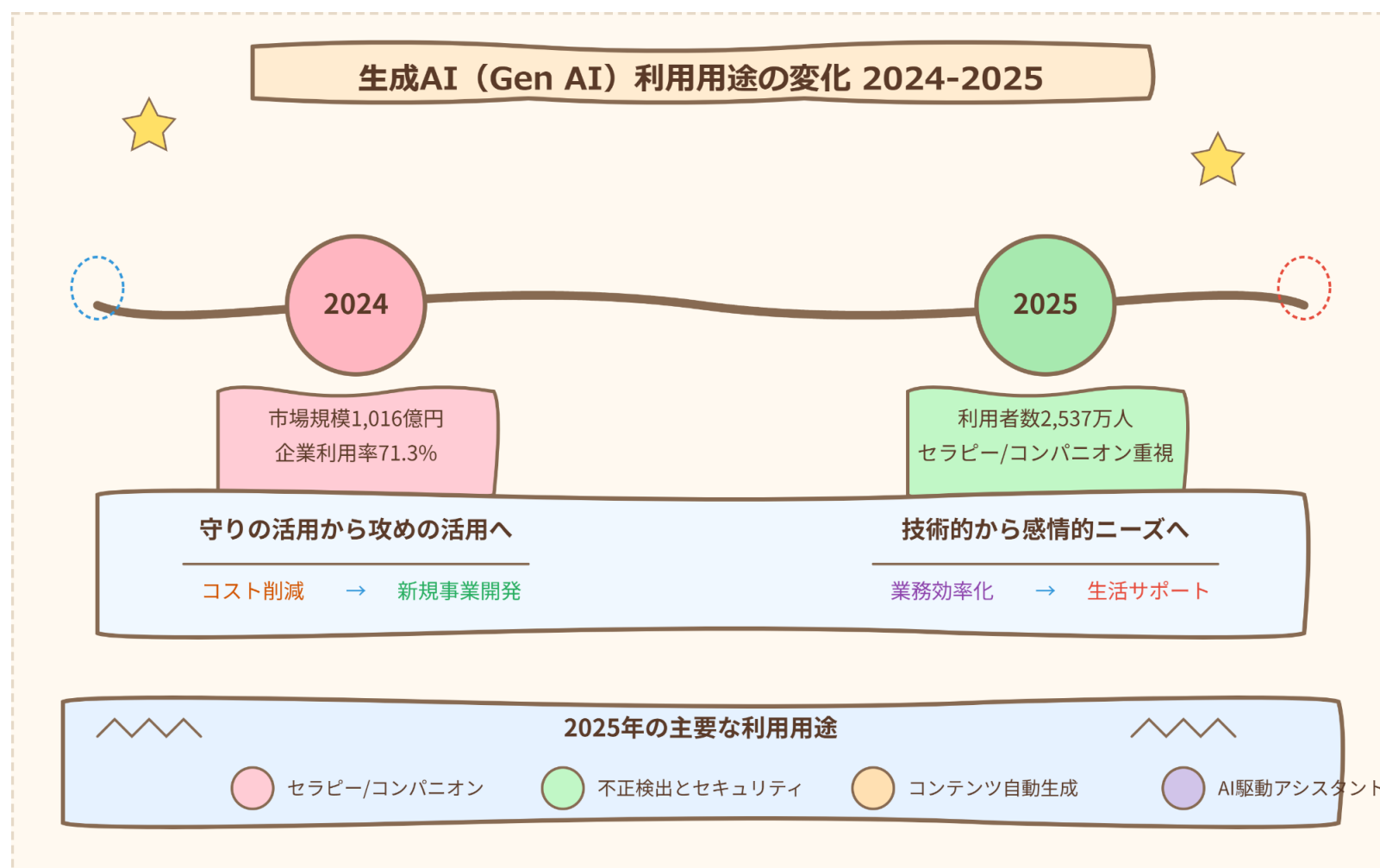


生成 AI（Gen AI）の主な利用用途（ユースケース）
が、**2024** 年から **2025** 年にかけてどのように変化すると予測されているか

Felo AI



主要概述

2024 年から 2025 年にかけて、生成 AI（Gen AI）の主な利用用途（ユースケース）は大きく変化すると予測されています。

初期の単純な業務効率化から、より戦略的な活用へとシフトしており、「コスト削減」といった守りの活用から「新規事業開発」「顧客体験向上」といった攻めの活用へと変化しています[1]。特に注目すべき点は、技術的な応用からより感情的なニーズや自己実現を志向する利用へのシフトです[7]。

2025 年には「セラピー／コンパニオン」が最も重要なユースケースとなり、「生活の整理」や「目的の発見」といった個人的なサポートへの関心が高まると予測されています[7]。また、不正検出とセキュリティ、迅速なソフトウェア開発、コンテンツの自動生成、パーソナライズされたマーケティングキャンペーン、適応型製品設計、AI 駆動のチャットボットとバーチャルアシスタント、医薬品の発見と開発なども主要な利用用途として挙げられています。

さらに、RPA と生成 AI の連携により、RPA の限界であった「判断」を伴う業務の自動化が可能になり、より高度な業務プロセスの自動化が実現すると予測されています[9]。業界特化型の生成 AI ソリューションも充実し、導入直後から具体的な効果を発揮するようになっていきます[1]。

生成 AI サービスの利用者数も急速に増加しており、2024 年末には 1,924 万人、2025 年末には 2,537 万人に達すると予測されています[8]。

詳細なレポート

生成 AI（Gen AI）の主な利用用途（ユースケース）は、2024 年から 2025 年にかけて大きく変化すると予測されています。初期段階では単純な業務効率化が中心でしたが、より戦略的な活用へと移行し、「コスト削減」のような守りの活用から「新規事業開発」や「顧客体験向上」といった攻めの活用へと変化しています[1]。特に、技術的な応用から感情的なニーズや自己実現を志向する利用へと重点が移っています[7]。

市場規模と成長予測

IDC Japan によると、2024 年の国内生成 AI 市場規模は 1,016 億円に達し、初めて 1,000 億円を超えると見込まれています[1]。2023 年から 2028 年までの年間平均成長率（CAGR）は 84.4%と推定され、2028 年には 8,028 億円に達すると予測されています[1]。

企業での利用状況

国内企業における生成 AI の利用率は 71.3%に達しています[1]。特に、業務において「ほとんど毎日」使用するという回答は 35.4%に上ります[1]。一方で、「AI を使いこなせているか」という質問に対し、「使いこなせている」と回答した企業は 23.3%にとどまり、活用方法の理解が課題となっています[1]。

活用目的の変化

生成 AI の活用目的は、初期の単純な業務効率化から進化しています[1]。製造業では設計プロセスの効率化や品質管理の高度化に、クリエイティブ分野ではアイデア発想やプロトタイピングの迅速化に応用されています[1]。「コスト削減」とい

った守りの活用から「新規事業開発」「顧客体験向上」といった攻めの活用へのシフトが顕著になっています[1].

2025 年の主要な利用用途

2025 年には、「セラピー／コンパニオン」が最も重要なユースケースになると予測されています[7]. 個人的なニーズへの対応として、「生活の整理」や「目的の発見」といった用途への関心が高まると考えられます[7]. その他の主要な利用用途は以下の通りです。

- 不正検出とセキュリティ
- 迅速なソフトウェア開発
- コンテンツの自動生成
- パーソナライズされたマーケティングキャンペーン
- 適応型製品設計
- AI 駆動のチャットボットとバーチャルアシスタント
- 医薬品の発見と開発

業界別の活用事例

各業界では、生成 AI の活用が進んでいます。

- 医療：診断の改善、創薬の加速、患者ケアのパーソナライズ
- 金融サービス：不正検出の強化、リスク管理の改善、顧客サービスの向上
- 製造：製品設計の最適化、サプライチェーンの効率化、品質管理の改善
- 小売：顧客体験のパーソナライズ、在庫管理の最適化、マーケティングキャンペーンの改善

RPA との連携

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）と生成 AI の連携により、RPA の限界であった「判断」を伴う業務の自動化が可能になり、より高度な業務プロセスの自動化が実現すると予測されています[9].

利用者数の増加

生成 AI サービスの利用者数は急速に増加しており、2024 年末には 1,924 万人、2025 年末には 2,537 万人に達すると予測されています[8].

生成 AI の課題とリスク

生成 AI の利用には、いくつかの課題とリスクも伴います。

- バイアスと差別: AI システムは、データ内の既存のバイアスを永続させ、不公平な結果につながる可能性があります。
- データプライバシー: センシティブなデータでトレーニングされた AI モデルは、適切なプライバシー保護対策が講じられていない場合、リスクをもたらす可能性があります。
- 知的財産: 既存の作品に類似したコンテンツを生成すると、著作権および知的財産侵害に関する懸念が生じます。
- サイバーセキュリティ: 悪意のあるアクターは、AI システムを悪用してディープフェイクを生成したり、高度なフ

フィッシング攻撃を実行したりする可能性があります[38].

これらの課題を軽減するために、企業は AI の利用に関する明確なガバナンスフレームワークと倫理的ガイドラインを確立する必要があります[34].

今後の展望

生成 AI はまだ初期段階にありますが、その将来の可能性は非常に大きいです[1]. 今後は、AI が人間の創造性を補完し、設計、エンジニアリング、コンテンツ作成などの分野の専門家がより多くの成果を上げられるようになると期待されています[1]. AI ガバナンスと規制、AI 倫理の継続的な進歩も重要なテーマとなります[1].

2025 年に企業が知っておくべきトレンド

2025 年には、生成 AI がさまざまな業界でより具体的な形で活用されるようになると予測されています[21]. 社内の業務効率化には引き続き生成 AI が必要であり、その差がさらに大きくなる 1 年になるとも言えます[14].

項目	内容
市場規模	2024 年の国内生成 AI 市場規模は 1,016 億円に達し、2028 年には 8,028 億円に達すると予測されています[1].
企業の利用状況	71.3%の企業が生成 AI を利用しており、特に「文書作成」「情報収集・リサーチ・分析」「設計・デザイン・画像・動画作成」での利用が多いです[17].
活用目的の変化	業務効率化から新規事業開発や顧客体験向上といった戦略的な活用へシフトしています[1].
主要な利用用途	不正検出とセキュリティ、ソフトウェア開発の迅速化、コンテンツの自動生成、パーソナライズされたマーケティング、適応型製品設計、AI チャットボット、医薬品開発などが挙げられます[1].
業界別の活用事例	医療、金融、製造、小売など、多岐にわたる業界で活用が進んでいます[1].

項目	内容
RPA との連携	RPA と生成 AI の連携により、判断を伴う業務の自動化が可能になります[9].
課題とリスク	バイアス、データプライバシー、知的財産、サイバーセキュリティなどが挙げられます[34].
今後の展望	AI が人間の創造性を補完し、より多くの成果を上げられるようになると期待されています[1].
2025 年のトレンド	生成 AI がさまざまな業界でより具体的な形で活用されるようになると予測されています[21].

1. [【2025 年版】生成 AI の最新トレンドと企業活用の実践ガイド](#)
2. [【2025 年】生成 AI ツールと活用事例 7 選。マーケターはどう ...](#)
3. [【2025 最新版】2024 年の生成 AI 市場の最新動向と 2025 年の ...](#)
4. [2024 年の生成 AI の展望——生成 AI は“試用”から“活用”へ](#)
5. [【2025 年最新】生成 AI の活用方法 | ビジネスにおける様々な ...](#)
6. [生成 AI 種類完全ガイド【2025 年最新版】目的別に選ぶ最適 ...](#)
7. [2024～2025 生成 AI 使用事例の変遷と 2026 年の展望 — note](#)
8. [2024 年度 生成 AI サービス利用動向に関する調査 — ICT 総研](#)
9. [【崖問題】生成 AI の活用がもたらす 2025 年のビジネス DX 進化 ...](#)
10. [進化が「速すぎる」生成 AI、日本企業はシステムを常に ...](#)
11. [【2025 年最新】生成 AI ツール 2024 年のまとめと 2025 年 ... — Zenn](#)
12. [【生成 AI の最新動向】2024 年注目される生成 AI トレンド — セラク](#)
13. [生成 AI の今後はどうなる？現状の普及率や課題を踏まえて将来 ...](#)
14. [進化する生成 AI : 2025 年に企業が知っておくべき 2 つのトレンド](#)
15. [【2025 年最新】人気の生成 AI を徹底比較！自社に最適な AI が ...](#)
16. [2024 年を振り返って 進化する生成 AI がもたらした変化 — note](#)
17. [60%が生成 AI を業務で利用、そのうち 85%が「人に頼らず AI で ...](#)

18. [【2025年のAIトレンド】AI エージェントとは何かを詳しく解説！](#)
19. [Gartner、「生成AIのハイプ・サイクル：2024年」を発表](#)
20. [ビジネスシーンにおける生成AI利用実態調査2024 – Cotra](#)
21. [【徹底解説】2024年の生成AIトレンドの振り返りと2025... – HP](#)
22. [2025年の生成AI最新プランまとめと市場動向：ChatGPT](#)
23. [2024年のAI事情を振り返り、2025年の最新トレンドを予想！](#)
24. [2024年上半期発表レポートにもとづく日本と世界... – AINOW](#)
25. [【2025年最新】生成AIとは？仕組みから特徴、具体的な応用例](#)
26. [【2025年最新】自治体における生成AI活用状況 | 導入事例と...](#)
27. [生成AIがもたらす就職活動の変化～2024年卒から2025年卒の...](#)
28. [2025年4月現在、最新生成AI動向 | 丸岡一志 – note](#)
29. [2025年版】生成AIの最新トレンドと企業活用の実践ガイド](#)
30. [生成AIの急成長～企業が知っておくべき最新トレンドと導入...](#)
31. [How People Are Really Using Gen AI in 2025](#)
32. [Real-world gen AI use cases from the world's leading...](#)
33. [Generative AI Use Cases: Top 10 for Enterprises in 2025](#)
34. [9 use cases of generative AI in 2025 | Learn how AI transforms...](#)
35. [生成AI界隈の2024年振り返りと2025年展望 – Zenn](#)
36. [Gen AI use cases by type and industry | Deloitte US](#)
37. [The State of AI: Global survey – McKinsey](#)
38. [生成AIにおける2024年の振り返りと2025年の展望](#)
39. [Generative AI: What Is It, Tools, Models, Applications and Use...](#)
40. [Generative AI Guide: Top Use Cases, Benefits & Applications...](#)
41. [The 21 best generative AI tools in 2025 – Zapier](#)
42. [“AIでいいや”が8割超！『2025年最新・企業の生成AI利用実態...](#)
43. [What's next for generative AI in 2025? – Computerworld](#)
44. [生成AIに聞いてみた2024年どんな年？2025年はどんな年に...](#)